

## 女性技術者アンケート結果概要

建設コンサルタンツ協会九州支部 女性技術者委員会

### 1.実施概要

- 女性技術者の現状・課題、WLBの取り組み状況等の把握を主な目的として、企業・個人を対象にアンケートを実施。

#### <企業アンケート> ……資料編①

- ・実施期間：平成29年5月22日～平成29年6月9日
- ・回収数：74社（146社を対象に実施・回収率51%）

#### <個人アンケート> ……資料編②

- ・実施期間：平成29年11月1日～平成29年12月11日
- ・回収数：119人（女性技術者を対象）

### 2.結果概要

#### ①現状・問題点

- 役員・技術部門一般職のうち、女性は1割程度と少ない。
- 新卒採用は平成26年以降急増。入社5年後の離職者数は、新卒採用者の5割以上（女性のほうが離職率が高い）
- 女性技術者のうち、20代は辞職・転職、就業継続不明の回答割合が高い。30代以上は、同じ会社で働きたい人が6割以上を占める。
- 6割が退職を考えたことがある。理由は「体力・精神的な負担」や「労働環境」、「WLB」が多い。
- 7割が仕事継続への不安を感じており、年齢が高くなるにつれ割合が増加。理由は「体力・精神的な負担」が多い。
- 5割以上が管理職を目指していない(30代・40代と20代での差があり)。理由は「WLBが困難」が多い。
- 8割の企業が女性活躍の取り組みを実施。「残業の削減（働き方の見直し）」、「仕事と家庭を両立できる制度」、「母性保護に関する制度」が多い。
- WLB推進部署の設置や管理職へのWLB研修を実施している企業は約2～3割と少ない。
- 新たなWLBの取り組みを、企業単独で実施することが困難な企業が多い。
- 女性技術者が働きやすい環境づくりのために官民での対応が必要なことは、「年度末の工期集中の分散」、「労働環境改善への取り組み」が多い。

#### ②課題

- ⇒若手女性技術者の建コン離れ抑制
- ⇒女性技術者の「体力・精神的な負担」軽減、労働環境の改善
- ⇒WLBの更なる推進
- ⇒発注者との調整・協議による工期分散、労働環境改善の実現

### ③要望

- 今後整備・改善してほしい項目として、連続休暇、リフレッシュ休暇、短時間勤務、子供の看護休暇を希望する人が多い。
- 女性技術者が働きやすい環境づくりのために必要な取り組みは、出産育児などの「母性保護に関する制度の充実」が最も多く、「仕事と家事を両立できる制度」や「残業の削減」と続く。  
⇒企業への各種制度の充実、残業削減、WLBの推進に関する協力依頼をお願いします。
- 建コン協会に期待することは、「男女が働きやすい環境づくりの周知、啓発」が最も多く、「WLBの推進」、「女性技術者の紹介、情報発信」と続く。  
⇒働きやすい環境づくりの必要性周知、WLBの推進、女性技術者の情報発信について、ご協力をお願いします。
- 官民での対応が必要なことは、「年度末の工期集中の分散」、「労働環境改善への取り組み」  
⇒発注者への工期分散、労働環境改善に関する協力依頼をお願いします。

以上